

愛知県医療療育総合センター中央病院で行われている臨床研究について

当施設では下記の臨床研究を行っております。全ての研究は、愛知県医療療育総合センター倫理審査委員会の審査を経て、センター総長（石黒直樹）の承認を得て行っています。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に診療情報等を利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご照会ください。

[研究課題名] 当院のプラダー・ウィリ症候群の臨床像についての検討

[研究責任者] 中央病院・小児内科遺伝診療科・大辻塩見

[研究の目的・試料および情報の利用目的]

プラダー・ウィリ症候群（PWS）の方においては、早期の診断や疾患特性に合った養育環境が、肥満発症時期を遅らせられると報告されています。当院は開設当初の 1970 年から PWS の方の診療を行っています。この 55 年間で疾患特性の認知、遺伝学的検査方法の確立、GH 療法の効果、新生児科医による早期診断、と PWS をめぐる医療は大きく変化しました。また知的障害児をとりまく社会および教育環境も変化しました。当院で PWS に適した通院指導を受けられた方の診療情報を振り返り、当院における診療を評価し PWS の方を適切な養育・医療療育につなげることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1970 年 5 月～2024 年 12 月に当院通院歴のある PWS の方

●研究期間

2025 年 3 月 14 日から 2026 年 12 月 31 日

●利用する情報・検体、取得方法

カルテに記載されている以下の情報：生年月日、性別、診断年齢、当院初診年齢、遺伝型、IQ、養育環境、同居同胞数、GH 療法の有無と開始年齢、BMI の推移、身体疾患・精神疾患の合併と治療内容、死亡年齢、死亡原因

●試料・情報の外部提供、利用する者の範囲

この研究の情報は、当院のみで使用します。

[個人情報の取扱い・管理責任者]

個人を直接特定できる個人情報（氏名、住所、ID など）は削除した上で研究に用います。

[研究組織]

研究責任者：大辻塩見・中央病院・小児内科遺伝診療科・医長

共同研究者：稲葉美枝・中央病院・小児内科遺伝診療科・部長

共同研究者：上原朋子・中央病院・小児内科遺伝診療科・医長

共同研究者：中村奈都紀・中央病院・小児内科遺伝診療科・医長

共同研究者：水野誠司・中央病院・小児内科遺伝診療科・非常勤医師

共同研究者：林深・中央病院・小児内科遺伝診療科・非常勤医師

共同研究者：上田日和・中央病院・小児内科遺伝診療科・遺伝カウンセラー

この研究は当院のみで行います。

[問い合わせ先]

愛知県医療療育総合センター 中央病院 小児内科遺伝診療科

担当者名：大辻塩見

〒480-0392 愛知県春日井市神屋町 713-8

電話 0568-88-0811（代表） FAX 0568-88-0828